

公益社団法人 全国病院理学療法協会

広 報

平成30年3月31日 第231号

〔代議員総会開催通知及び議案書〕



第59回 定時代議員総会

と き 平成30年5月25日（金）

と ころ ウェスタ川越 多目的ホール



この資料は再配付いたしませんので
関連会議には必ずご持参願います。

公益社団法人 全国病院理学療法協会

諸会議・学会日程表

	5月25日(金)	5月26日(土)	5月27日(日)
9:00	受付	受付	受付
10:00	地方会 代表者会議 9:30～10:30	開会式 9:30～10:00	会員発表(2) 9:10～10:10
		会員発表(1) 10:00～10:30	
11:00	受付		会員発表(3) 10:20～11:20
	第59回 定時代議員総会 11:00～16:30	協会委託事業講演 10:30～12:00	
12:00		総会報告会 12:00～12:30	市民公開講座 11:30～13:00
	昼休憩		
13:00		昼休憩	閉会式
14:00		特別講演 13:30～15:00	
15:00	第59回 定時代議員総会 11:00～16:30		
16:00		協会創立70周年・ 法人認可55周年 記念式典 15:20～16:40	
	受付		
17:00	平成30年 連盟評議員会 16:40～17:40	受付	
		記念祝賀会 川越プリンスホテル 3F マリーゴールド 17:30～19:30	

全病理発第 18001 号
平成 30 年 4 月 1 日

役員 各位
代議員 各位

公益社団法人 全国病院理学療法協会
会長 平野 五十男

第 59 回 定時代議員総会開催通知

このことについて、下記により開催いたしますので、ご出席くださいますようお願いいたします。

記

1. 日 時 平成 30 年 5 月 25 日（金）11 時開会
2. 会 場 ウェスタ川越
3. 議 題
 - 第 1 号議案 平成 29 年度 事業報告
 - 第 2 号議案 平成 29 年度 収支決算報告及び監査報告
 - 第 3 号議案 役員定数の変更、常任理事会の廃止に係る定款変更
 - 第 4 号議案 会費値上げに係る定款細則の変更
 - 第 5 号議案 表彰に関する承認
 - 第 6 号議案 第 68 回日本理学療法学会 学会長 準備委員長の承認
 - 第 7 号議案 第 68 回日本理学療法学会 開催地の決定
 - 第 8 号議案 役員改選
4. 報告事項
 1. 平成 30 年度 基本姿勢及び事業計画
 2. 平成 30 年度 予算書

第 59 回 定時代議員総会議案書の作成及び送付について

議案書の作成については、各支部・地方会から提出された提言や要望等を理事会において審議し、その結果を議案書に取り入れました。

なお、理事会の審議結果の要旨については、この議案書の中に掲載しております。

議案書等目次

第 1 号議案	平成 29 年度 事業報告	4
第 2 号議案	平成 29 年度 収支決算報告及び監査報告	6
第 3 号議案	役員定数の変更、常任理事会廃止に係る定款変更	7
第 4 号議案	会費値上げに係る定款細則の変更	8
第 5 号議案	表彰に関する承認	8
第 6 号議案	第 68 回日本理学療法学会 学会長 準備委員長の承認	8
第 7 号議案	第 69 回日本理学療法学会 開催地の決定	9
第 8 号議案	役員改選	9

報 告

1.	平成 30 年度 基本姿勢及び事業計画	10
2.	平成 30 年度 予算書(案)	15
3.	財務状況の推移	16
4.	会費納入状況一覧	17
5.	保険局活動報告・診療報酬・介護報酬の簡易点数表	18
6.	支部・地方会からの提言・要望(要旨)	20
7.	平成 29 年度 第 3 回理事会 議事録(抄)	21
8.	本部からの発信文書一覧	24
9.	諸会議及び役員渉外行動報告	25
10.	選挙公報、立候補者の抱負	26

第1号議案 平成29年度 事業報告

1. 事務局

1) 会議の開催

- (1)代議員総会 1回
- (2)代議員総会報告会 1回
- (3)理事会 3回
- (4)地方会代表者会議 1回
- (5)東洋療法研修試験財団評議員会・生涯研修検討委員会・作業部会への参画
- (6)あはき等法推進協議会への参画
- (7)国民医療推進協議会への参画

2) 事務処理及び管理

- (1)葵税理士法人との決算処理作業
- (2)法人業務及び会計に係る報告書の提出
- (3)関係省庁・関係学会等に対する各種要望書の提出と要望活動の実施
- (4)各支部から提出された平成29年度事業報告・決算報告等の整理・管理
- (5)諸会議に係る企画立案と文書作成
- (6)大崎駅西口前再開発に伴うマンション管理会議への参加

2. 組織局

- 1) 会員登録（入会・退会）
- 2) 会員登録事項変更届の受理及び処理
- 3) 会友・休会申請書受理
- 4) 平成29年度 役員名簿作成・管理
- 5) ダイレクトメールの管理・修正・処理

3. 情報管理局

1) 情報管理業務

- (1)ホスティングサービス〈業務委託〉運用・及びシステム開発 会員管理システム・財務処理システム
- (2)会費管理システム 構築・運用 会員管理クラウド・財務会計クラウドシステムの管理・運用
- (3)メール配信業務 理事・地方会・支部連絡用アドレス管理
- (4)各種証書作成（技能認定登録制度・技

能講習会修了証など）

- (5)財務関連業務・予算・決算 資料提供
- (6)会費納入状況調査

各システムの安定的な運用のため、システム改編を模索したが、経費算出が難しいため断念した。

2) ホームページ管理業務

- (1)デザイン・コンテンツの整備・運用
- (2)データライブラリの整備・拡充
- (3)リンク集整備（各県支部・公共機関・関連情報等）
- (4)技能認定登録者名簿の掲載（四半期ごとに掲載）
- (5)会員専用談話室管理（参加者管理・投稿管理）
- (6)協会広報掲載（PDF）

4. 保険局活動報告

4月26日 厚生労働省（保険局医療課・老健局老人保健課及び振興課）に出向き診療報酬・介護報酬同時改定の要望

6月20日 日本臨床整形外科学会の理事長と面会し、本協会が行っている要望活動への理解と協力を依頼

11月22日 老健局振興課へ出向き、個別機能訓練7職種で、加算算定上の格差が生じないように要望

12月下旬 保険局への専従・常勤配置についての確認依頼

1・2月 社保審一介護給付費分科会（H30年1月26日）

中央社会保険医療協議会 総会（第389回）H30年2月7日改定案答申の情報確認

診療報酬で会員からの問い合わせ・情報提供

○リハビリテーション総合計画 評価料について

○地域包括ケア病棟入院料について

○介護報酬下での要員について

5. 学術局

(全般)

- 1) 第66回日本理学療法学会を平成29年5月20日(土)・21日(日)大阪府吹田市千里ライフサイエンスセンターにおいて開催した。

- 2) 第67回日本理学療法学会準備委員との打ち合わせ(5/21)、大阪府吹田市

- 3) 第25回運動療法技能講習会に係る認定試験問題合否判定会議開催(2/17)協会事務所

(教育部)

- 1) 第40回理学療法指導者講習会講師への挨拶、打ち合わせ(7/19)新潟市

- 2) 第40回理学療法指導者講習会準備会開催(7/23)千葉市

- 3) 第40回理学療法指導者講習会を10月29日(日)千葉市文化センターにて開催した。受講者36名

- 4) 第40回理学療法指導者講習会DVD発送(12/18)

(研究)

学術研究資料の収集

6. 理療出版部

- 1) 原稿依頼、収集、校正の編集業務

- 2) 理療発行

Vol 47 No.1 (181号) 1,900部

Vol 47 No.2 (182号) 1,900部

Vol 47 No.3 (183号) 1,900部

Vol 47 No.4 (184号) 1,900部

7. 特殊出版部

- 1) 理療「音声対応CD」No.181号 72部

理療「音声対応CD」No.182号 73部

理療「音声対応CD」No.183号 73部

理療「音声対応CD」No.184号 73部

- 2) 理療「デイジー図書」No.181号

理療「デイジー図書」No.182号

理療「デイジー図書」No.183号

理療「デイジー図書」No.184号

- 3) 広報「CD版」No.229号 47部

広報「CD版」No.230号 47部

広報「CD版」No.231号 発行予定

- 4) 広報「デイジー」No.229号 33部

広報「デイジー」No.230号 34部

広報「デイジー」No.231号 発行予定

8. 広報局

- 1) 広報229号掲載原稿の検討と編集作業日程の資料を送付。(6月12日)

- 2) 広報229号の編集委員校正作業後、発行(7月17日)

- 3) 広報230号に向けて編集委員に作業日程、掲載原稿(案)・前年度資料送付(10月15日)

※原稿作成者との連絡調整(各部局、第66回日本理学療法学会担当者、第67回日本理学療法学会担当者等)

- 4) 広報230号の編集委員校正作業を経て発行(12月25日)

- 5) 広報231号の発行に向けての編集作業中

- 6) 地方学会の案内掲載229号(東北地方会、中部地方会、中国・四国地方会)

- 7) 大圏社(印刷業者)と広報作成に関する連絡調整

- 8) デイジー横浜からの協力依頼に対応(メール229号4回・230号7回)

9. 財務局

- 1) 会費納入状況 平成30年2月2日現在
会費納入対象者 1,668名

納入者 1,520名 未納者 144名

過年度会費未納者 25年度 33名

26年度 43名 27年度 62名

28年度 106名

- 2) 財務業務

(1) 葬税理士法人との財務作業。

(2) 平成29年度の財務処理は、第3四半期まで終了した。

- (3)会費未納に対する請求を、今年度未納者、過年度（平成 25・26・27・28 年度）未納者に 1 回行った。また、地方会・支部の協力で直接声掛けを行った。
- (4)平成 30 年度の予算編成をした。

シヨンに従事するマッサージ師・柔道整復師等の今後の方向性について検討を行った。

・地方の組織活動の再生には中心となる役員の世代交代が必要であるが、進んでいない実態がある。

10. 統計・組織充実部

1) 会員実態調査の活用

- (1)平成 28 年度に実施した会員実態調査を診療報酬・介護報酬の同時改定に向けた協会の行う要望活動に活用した。
- (2)調査結果の分析・評価を行い、協会活動への反映を図った。
(広報第 230 号参照)

2) 統計について

- (1)養成校に対する就職状況等の調査票を作成した。(平成 27 年度～29 年度・4 月発送予定)

3) 組織充実について

- (1)関係地方会の概況を把握し、組織活動の維持充実を図った。
- (2)関係地方会からの組織充実に関する意見等の集約を図った。
 - ・会員は、逡減傾向にある。
 - ・役員のなり手がなく、世代交代ができていない。
 - ・研修会は、地方会単位での開催が多くなってきている。
- (3)技能講習会の地域受講に関する検討の推進を図った。
 - ・養成校のカリキュラム変更や現行の技能認定登録者の評価に対する影響等について検討した。
- (4)会員実態調査の分析・評価をもとに、次世代役員の育成及びリハビリテー

11. 運動療法機能訓練技能講習会委員会

- 1) 関東甲信越地方会、近畿地方会の 2 会場で開催。
- 2) 視聴覚教材の補完及び整理
- 3) 第 25 回 技能認定試験の実施。
- 4) カリキュラムの検討と情報収集。

12. 技能認定登録制度委員会

- 1) 平成 28 年度 単位取得講習会報告書の審査及び承認単位通知書の発行。
- 2) 技能認定登録及び技能認定登録更新(再更新を含む)等の遂行。
- 3) 登録手帳を新規作製し、平成30年 1 月より発行した。
- 4) 学会・講習会開催案内のホームページ掲載。

13. 表彰選考委員会

- 1) 協会創立 70 周年・法人認可 55 周年記念式典に向け、各支部・地方会より厚生労働大臣表彰・協会表彰(高木賞・後藤賞・功績賞・功労賞)受賞者の推薦書類の整理を行った。
- 2) 地方学会(記念学会)における協会長表彰の推薦受理と受賞者の決定
- 3) 叙勲・褒章受章者の推薦と関係官庁との折衝を行った。

第 2 号議案 平成 29 年度 収支決算報告及び監査報告

平成 29 年度 収支報告書は、平成 30 年 4 月 29 日(日)に予定されている「平成 29 年度末監査」終了後、理事の承認を得たうえで、各支部に送付いたします。

第3号議案 役員定数の変更、常任理事会の廃止に係る定款変更

(提案理由)

会員数の減少に伴い、役員定数を削減し、常任理事会を廃止して、法人運営業務の効率化、経費節減をおこなう。

(定款変更内容)

1. 役員定数の削減
理事 10名以上 12名以内から、7名以上 9名以内に変更する。
監事 2名以上 3名以内から、1名以上 2名以内に変更する。
2. 常任理事会を廃止する

第21条 この法人に次の役員を置く

- (1)理事 7名以上 9名以内
- (2)監事 1名以上 2名以内
- 2 理事のうち1名を会長とする。会長をもって、法人法上の代表理事とする。
- 3 会長を除く理事のうち、2名を副会長、2名を常任理事とし、この4名をもって、法人法上の業務執行理事とする。

第6章 理事会

第29条 この法人に理事会を置く。

- 2 理事会はすべての理事をもって構成する。
- 3 理事会の議長は、会長がこれに当たる。
- 3 常任理事会は、会長、副会長、常任理事を持って、構成する文削除)

第31条

- 5 常任理事会は、会長が招集する。(全文削除)

(常任理事会の職務)

第33条 常任理事会は、次の職務を行う。

- (1)理事会の審議事項の検討
- (2)業務執行のうち、法令又は定款により、理事会で決定すべきものとされる事項以外の日常的業務の執行。

※第33条全文削除

※第34条から第51条まで、条文番号を1番ずつ繰り上げる。

附則

6 定款変更 (平成30年5月25日)

変更後の定款は、平成32年5月に開催する定時代議員総会の日から施行する。(追加)

第4号議案 会費値上げに係る定款細則の変更

(提案理由)

会員数の減少に伴う会費収入の減少に対応するため、役員定数の削減、常任理事会の廃止等、法人運營業務の効率化、経費削減を図ると共に、平成31年度より、協会費の2000円値上げを提案致します。値上げによる増収分は、エビデンスの構築のための委託費用、会員管理システムの更新、地方交付金の増額等に充当し、健全な協会運営、財務の維持に努めてまいります。

(定款細則の変更内容)

第9条 定款第7条に定める会費等は次のとおりとし、個人が本部に納入する。

- (1)会費年間 22,000円
- (2)入会金 入会時 3,000円
- (3)代議員総会で特別に定めた負担金
- (4)会友会費、休会会費は、年間、正会員会費の半額とする。

附則

4. 定款細則変更 平成30年5月25日 代議員総会決議

変更後の定款細則は、行政庁(公益認定等委員会)への届け出をもって、発効する。(追加)

第5号議案 表彰に関する承認

- (1) 栄誉賞
- (2) 第66回日本理学療法学会 学会帳、準備委員長表彰
学 会 長 丹 羽 つとむ
準備委員長 町 井 修 治
- (3) 学術奨励賞
- (4) 組織拡大貢献支部表彰
- (5) 特別感謝状

第6号議案 第68回日本理学療法学会 学会長・準備委員長の承認

学 会 長 西 口 政 男
準備委員長 森 田 好 則

第7号議案 第69回日本理学療法学会 開催地の決定

中部地方会で開催内定

第8号議案 役員改選

平成30年度 会費納入のご案内

平成30年度会費を以下の要領で納入してください。

納入対象者	<u>平成30年4月1日現在の会員</u>
会費納入期限	<u>平成30年4月30日</u>
納入金額	20,000円
納入方法	<u>JCBビジネスカード納入（カード納入が原則）</u> <u>振替日 平成30年5月10日</u>

※協会会費納入はJCBビジネスカードで行うことが基本です。未加入の方は至急協会本部へ加入申請をしてください。必要書類をお送りいたします。

●ゆうちょ銀行からの振込

口座記号番号 00110 - 5 - 3747

氏名・支部名を必ず記入してください。

例：平成30年度会費

東京支部 理療 太郎

※ 振り込み手数料はご負担願います。

●銀行などのATMからの振り込み

銀行名 ゆうちょ銀行

支店名 〇一九(ゼロイチキュー)

口座番号 0003747

※氏名・支部名を記載して下さい。

例：トウキョウシブ リリョウ タロウ

※ 振り込み手数料はご負担願います。

※請求書・領収書が必要な方は、協会本部にお申し出ください。

平成 30 年度 基本姿勢及び事業計画

公益社団法人へ移行後、会員数の減少と高齢化が進む本協会にとって、厳しい運営が続いている。新しい組織の再編のもと基盤の強化を図ることが急務となる。

第 58 回定時代議員総会で決定された事業の推進状況と、各地方会・各支部から寄せられた提言・要望を踏まえ、理事会において審議し、平成 30 年度基本姿勢を作成するものである。

1. 学識・技術の向上

理学療法従事者の学識・技術を向上させる目的で「日本理学療法学会」及び「運動療法機能訓練技能講習会」並びに「理学療法指導者講習会」等を主催するとともに、学術誌の発行、技能認定登録制度に伴う単位取得講習会の充実、併せて研究活動の指導を推進する。

2. 診療報酬制度下における各種の取り組み

診療報酬改定に向け、職場における会員の状況について実態調査を継続して行い、消炎鎮痛処置からマッサージ等の手技療法を独立させることと、疾患別リハビリテーション料の格差是正について重点的に要望すると共に、技能認定登録者が診療報酬で優位に位置付けられるよう引き続き要望活動を推進する。

また、技能認定登録を行っているはり師・きゅう師を、疾患別リハビリテーションの施設基準における算定要員として組み入れられるよう運動を継続する。

3. 介護保険制度に対する取り組み

介護報酬改定に向けて、介護老人保健施設、並びに通所リハビリテーション、及び訪問リハビリテーション等の人員配置基準に技能認定登録者を優位な条件で位置付けるよう要望活動を推進する。

4. 技能認定登録制度の推進

平成 15 年度に発足したこの制度は、厚生労働省、関係医学会等において高い評価をいただき、平成 18 年 4 月の診療報酬改定において「運動療法機能訓練技能講習会を受講するとともに、定期的に適切な研修を修了しているマッサージ師等の従事者」として算定要員に位置づけられている。

今後、講習会や研修会等の更なる充実を図り、技能認定登録者及び登録更新者が「資質の高い従事者」として広く社会に容認され、その役割を確立するために衆知を結集して邁進したい。

5. 病院等で理学療法等に従事するマッサージ師・柔道整復師等の医療法上の位置づけ

病院等で理学療法・運動療法・機能訓練等に従事しているマッサージ師、柔道整復師等については、医療法に基づく「医療従事者」として位置づけられるように運動を推進する。

6. 組織強化

本協会における、会員数の減少や高齢化が進む中で、公益社団法人として公益事業を推進して行くため組織の再編と、財政基盤の強化を図る。

組織の拡充については、介護保険分野に従事する理学療法従事者に対しても、積極的に本協会への入会を勧めて行く。会費の徴収に関しては、各支部役員の負担の軽減と未納者の減少を目的に、JCB カードによる本部への直接納入制度の導入を推進する。

事業計画

1. 事務局

業務運営の要として、主要会議、各部門の連絡調整、文書処理等を通じて協会事業推進に側面から支援する。

- 1) 協会の主要会議のあり方等について常に検討を行い、会議の効率化を図る
- 2) 各種会議の計画・開催・各部局会議の開催準備と調整
- 3) 文書の作成と発出及び収受、並びにその管理
- 4) 公益社団法人業務の処理
- 5) 情報収集と伝達
- 6) 関係省庁・関係医学会・その他関連団体との連絡調整
- 7) 大崎駅周辺の大規模開発に伴う諸会議への参加

2. 組織局

- 1) 平成 30 年度 役員名簿作成
- 2) 技能認定登録入力
- 3) 入・退会 会員管理
- 4) 理療・広報入力（墨字・CD・デイジー）

3. 情報管理局

- 1) 情報管理業務
 - (1)ホスティングサービス（業務委託）運用・及びシステム開発・会員管理システム・財務処理システム
 - (2)メール配信業務
理事・地方会・支部連絡用アドレス管理
 - (3)各種証書作成（技能認定登録制度・技能講習会等）
 - (4)財務関連業務・予算・決算・資料提供
 - (5)会費納入状況調査
 - (6)運用中のシステムの再構築・安定化
- 2) ホームページ管理業務
 - (1)デザイン・コンテンツの整備・運用
 - (2)技能認定登録者名簿の掲載（四半期ごとに掲載）
 - (3)会員専用談話室管理（参加者管理・投稿管理）
 - (4)協会広報掲載

4. 保険局

2018 年（平成 30 年度）の診療報酬・介

護報酬同時改定の内容の検証と協会と会員実態調査アンケートの分析の結果（内容）を持って、国・関連団体に我々の実態を示し診療報酬と介護報酬といった仕組みの中で、リハビリ関連専門職として限られた医療・介護の中で本協会会員が参画できるように交渉をしていきたい。

- 1) 厚生労働省関連部署、関連団体への挨拶と交渉
- 2) ホームページ（診療報酬関連）の更新
- 3) 最新情報（診療報酬関連）の発信

5. 学術局

（全 般）

- 1) 第 67 回日本理学療法学会の主催
- 2) 第 68 回日本理学療法学会開催準備委員会との打ち合わせ（九州地方会）
- 3) 東洋療法研修試験財団関係
 - (1)平成 29 年度生涯研修会終了報告書の提出
 - (2)平成 30 年度生涯研修会開催計画書の提出
- 4) 学術局関連会議の開催

（研究部）

- 1) 運動療法機能訓練技能講習会課題学習レポートの収集と学術奨励賞の選考
- 2) 学術研究資料の収集

（教育部）

- 1) 第 41 回 理学療法指導者講習会の開催
日 程 平成 30 年 10 月上旬～中旬
テーマ 未定
- 2) 理学療法指導者講習会規程の検討
- 3) 第 41 回 理学療法指導者講習会 DVD 作成

6. 理療出版局

- 1) 理療編集業務
- 2) 原稿依頼
- 3) 編集内容
185 号 展望、理学療法基礎講座、東

洋医学基礎講座、特集、生涯学習シリーズ、実践講座、臨床基礎講座、特別寄稿 186号 展望、理学療法基礎講座、東洋医学基礎講座、特集、生涯学習シリーズ実践講座、臨床基礎講座、第25回認定試験模範解答解説（午前の部）、地方学会特別講演 187号 展望、理学療法基礎講座、東洋医学基礎講座、特集、生涯学習シリーズ 実践講座、第67回日本理学療法学会印象記、臨床基礎講座、第25回認定試験模範解答解説（午後の部）、地方学会特別講演 188号 展望、第67回日本理学療法学会特集（特別講演、市民公開講座、写真集、会員発表）、地方学会特別講演

7. 特殊出版部

- 1) 理療「音声対応CD」の作製と配布
- 2) 理療「デージー図書」の作製
- 3) 広報「CD版」の作製と配布
- 4) 広報「デージー」の作製と配布

8. 財務局

- 1) 事業活動が滞らないよう、適正に資金運用を図る。
- 2) 会費の速やかな納入を促す。
- 3) 未収会費の回収に努める。
- 4) 適正な財務活動のために、地方会・支部の理解と協力を仰ぎたい。

9. 広報局

昨年度、初めて発行回数を1回減らして今年度は、年間3回の発行とした。

今年度は変更後の問題点、意見や要望、提案について検討し、改善できる所については改善していきたい。

- 1) 広報232号の編集、発行、校正作業（平成30年7月）
- 2) 広報233号の編集、発行、校正作業（平成30年10月）
- 3) 広報234号の編集、発行、校正作業（平成31年3月）

- 4) 引き続き、予算内で地方公益活動・学術活動等の掲載を検討する
- 5) 広報作成に関して、印刷業者（大圏社）との連絡調整
- 6) デイジー横浜からの協力依頼に対応

10. 統計・組織充実部

1) 会員実態調査の実施

(1)平成32年4月実施の診療報酬改定に向け、協会の行う要望活動の基礎的資料とするため、引き続き会員実態調査を実施する。

(2)調査方法については、前回の結果を踏まえ、回答率の引き上げを図る。

(3)設問については、回答例や資料の添付等により、会員が分かりやすいものとする。

2) 養成校に対する就職状況等の調査

(1)養成校に対する就職状況等の調査の実施と集計。

3) 組織充実について

(1)関係地方会の概況を把握し、組織活動の維持充実を図る。

(2)関係地方会からの組織充実に関する意見集約を図る。

(3)技能講習会の地域受講に関する検討の推進を図る。

(4)次世代役員の育成に対する支援の検討を行う。

(5)算定格差とPTの充足を踏まえたりハビリテーションに従事するマッサージ師・柔道整復師等の将来ビジョンの検討。

11. 運動療法機能訓練技能講習会委員会

- 1) 運動療法機能訓練技能講習会の開催
- 2) 視聴覚教材の整備・補完により充実を図る。
- 3) 課題レポートの審査・統計処理
- 4) 第26回認定試験の実施（平成31年2月10日（日））

- 5) カリキュラム及び開催方法・規程の検討

12. 技能認定登録制度委員会

- 1) 技能認定登録委員会の開催。
- 2) 「単位取得講習会等開催報告書」に係る審査、及び「支部別申請単位並びに承認単位数一覧表」の作成と報告。
- 3) 技能認定登録制度に係る「登録申請書（登録更新証・登録再更新を含む）」の受理・審査・登録、及び証書・手帳の交付。
- 4) 登録更新（再更新者）リストの作成と

支部への伝達。

- 5) 技能認定登録制度の進展を目的とした諸種の検討。

- 6) 学会・講習会開催案内のHP掲載

13. 表彰選考委員会

- 1) 通年時の表彰である学会長及び準備委員長表彰、組織拡充貢献支部表彰、特別感謝状、並びに栄誉賞等に係る事務作業を行う。
- 2) 支部及び地方会の記念学会等における会長賞の選考と表彰準備、その他、春秋叙勲・褒章等への対応を行う。

訃報

名誉会員 山崎義雄先生 ご逝去

本協会の名誉会員であり、第五代会長を務められた山崎義雄先生が、平成30年2月26日に97歳の天寿を全うされました。

ご承知の通り、故山崎先生は、本協会発足当初から中央にあって活躍され、特に昭和59年から平成10年までの7期14年にわたって協会長を務め、その間、病院理学療法問題議員懇話会を立ち上げる等、会員の権益の擁護に尽力し、協会の発展に多大な貢献をされました。そのご功績により、平成3年春には勲五等双光旭日章を賜与されております。

協会からは香典と生花と捧げ3月4日に東京都内で行われた通夜には、平野会長と杉浦幹雄東京都支部長が、5日の告別式には平野会長が参式し、ご冥福をお祈りいたしました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げ、ご報告といたします。

「お知らせ」 広報230号 訂正 P22

平成28年度実施会員実態調査分析結果報告（要旨）

6. 勤務先の種別

< 訂正前 >

種別	回答数	比率	備考
施術所勤務	18	2.1%	6.2%
施術所等自営	38	4.5%	
無職	34	4.0%	
その他	3	0.4%	

< 訂正後 >

種別	回答数	比率	備考	
施術所勤務	18	2.1%	6.2%	10.6%
施術所等自営	38	4.5%		
無職	34	4.0%		
その他	3	0.4%		

平成30年度 収支予算書(案)

平成30年3月4日 理事会承認

入金収入	150,000
本年度会費	30,050,000
過年度会費	2,000,000
翌年度会費	0
会友会費	200,000
会費等収入合計	32,400,000

会費等収入	32,400,000
事業収入	15,609,500
計	48,009,500
管理費支出	20,180,800
事業費支出	29,459,000
計	49,639,800
収支差額	-1,630,300

* 記念事業経費200万を含む

	本部管理費	支部管理費	全国学会 特別会計	地方学会 特別会計	技能講習 会特別会 計	技能認定 登録制度 特別会計	指導者講 習会会計	伝達講習 会会計	課題講習 会会計	理療発行 事業会計	広報発行 事業会計	記念事業 特別会計
事業活動収入合計			2,800,000	780,000	5,000,000	2,055,400	0	1,241,000	3,733,000	0	0	100
役員報酬	1,200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当支出	1,200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費支出	4,000,000	3,460,660	800,000	661,000	797,000	51,240	1,000,000	474,785	732,200	0	0	200,000
通信運搬費支出	960,000	736,560	600,000	185,000	134,394	620,085	50,000	104,422	362,472	0	0	100,000
消耗品費支出	340,000	603,508	100,000	44,309	165,405	351,555	10,000	122,083	207,816	0	0	150,000
修繕費支出	300,000	4,690	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費支出	80,000	562,110	2,800,000	408,000	321,000	1,006,120	100,000	96,600	213,380	3,200,000	1,350,000	550,000
光熱水料費支出	180,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料支出	600,000	694,408	1,500,000	108,000	596,000	26,000	200,000	184,460	569,619	0	0	200,000
保険料支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金支出	0	51,000	1,000,000	173,691	2,986,201	0	300,000	60,000	1,761,678	800,000	0	0
租税公課支出	100,000	0	0	0	0	0	0	0	11,185	0	0	0
負担金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑支出	4,870,000	237,864	0	0	0	0	40,000	38,200	35,100	0	0	800,000
過年度支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
翌年度支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0												
支出合計	13,830,000	6,350,800	6,800,000	1,580,000	5,000,000	2,055,000	1,700,000	1,080,550	3,893,450	4,000,000	1,350,000	2,000,000
収支差額			-4,000,000	-800,000	0	400	-1,700,000	160,450	-160,450	-4,000,000	-1,350,000	-1,999,900

財務状況の推移

＜収入の部＞

平成29年2月14日 作成

項目	27年度決算	28年度予算	28年度決算	29年度予算	30年度予算
会費収入(入会金、会友)	37,148,000	35,300,000	31,955,540	34,355,000	32,400,000
日本理学療法学会	2,423,901	1,040,000	2,072,002	3,500,000	2,800,000
地方学会事業	1,935,771	900,000	1,200,655	920,000	780,000
技能講習会事業	5,950,234	5,500,000	4,425,953	3,000,000	5,000,000
技能認定登録事業	2,025,018	880,000	204,000	2,500,000	2,055,400
課題講習会事業(伝達講習を含む)	5,900,742	6,276,000	3,904,951	5,360,000	4,974,000
理療発行事業	751	0	1,000,000	0	0
記念事業	939,348	0		0	0
その他	79,392	0	308,101		100
合計	56,403,157	49,896,000	45,071,202	49,635,000	48,009,500

＜支出の部＞

項目	27年度決算	28年度予算	28年2月度概算	29年度予算	
日本理学療法学会	7,754,273	5,035,790	5,952,065	8,000,000	6,800,000
地方学会事業	3,823,987	2,100,000	2,396,397	2,170,000	1,580,000
技能講習会事業	5,197,992	5,500,000	3,576,355	3,000,000	5,000,000
技能認定登録事業	480,707	880,000	210,349	2,500,000	2,055,000
課題講習会事業(伝達講習を含む)	5,350,646	6,273,190	3,598,820	5,360,000	4,974,000
指導者講習会事業(受講者旅費等含む)	2,098,565	1,700,000	1,105,802	1,700,000	1,700,000
理療発行事業	4,906,025	4,500,000	5,494,444	4,000,000	4,000,000
広報発行事業	1,632,490	1,840,000	2,345,660	1,350,000	1,350,000
記念事業	1,477,446	0	0	0	2,000,000
本部活動費	15,347,002	14,729,645	12,962,438	14,650,000	13,830,000
支部・地方会活動費	11,245,149	6,862,375	4,793,295	6,566,000	6,350,800
合計	59,314,282	49,421,000	42,435,625	49,296,000	49,639,800
収支差額	-2,911,125	475,000	2,635,577	339,000	-1,630,300

平成29年度 会費納入状況

平成30年3月8日 現在

No.	支部名	会員	退会者	会友	休会	計	納入	未納	JCB
1	北海道	86				86	81	5	38
2	青森	10		2		12	12		6
3	岩手・秋田	23		4		27	27		18
4	宮城	7		2		9	9		4
6	山形	14				14	13	1	5
7	福島	36				36	35	1	16
8	茨城	45			1	46	45	1	34
9	栃木	23				23	23		13
10	群馬	11				11	8	3	3
11	埼玉	130	1			131	123	8	37
12	千葉	70				70	64	6	39
13	東京	128	6			134	123	11	68
14	神奈川	78	1	1		80	75	5	49
15	山梨	9				9	8	1	5
16	新潟	26				26	25	1	15
17	長野	30	1		2	33	29	4	11
18	富山	25				25	24	1	18
19	石川	25				25	23	2	7
20	福井	15	1			16	16		7
21	静岡	24				24	24		16
22	岐阜	90	3			93	83	10	62
23	愛知	169	3			172	158	14	126
24	三重	27				27	24	3	21
26	京都・滋賀	68		1	1	70	55	15	28
27	大阪	153	8		1	162	139	23	74
28	兵庫	38	2			40	34	6	15
29	奈良	10	2			12	12		9
30	和歌山	29	1			30	25	5	6
31	鳥取	1	1			2	2		1
32	島根	1				1	1		1
33	岡山	2				2	2		1
34	広島	63				63	54	9	19
35	山口	3				3	2	1	1
36	徳島	6				6	6		2
37	香川	19	1			20	20		18
38	愛媛	38			1	39	37	2	29
40	福岡	9		1		10	9	1	1
42	長崎・佐賀	6				6	6		4
43	熊本	7				7	5	2	
44	大分	13		2		15	13	2	2
45	宮崎	1		1		2	2		
46	鹿児島	64			3	67	54	13	29
47	沖縄	3				3	3		1
	合 計	1635	31	14	9	1689	1533	156	859

* JCBカードを申し込み29年3月までにカードが届いた会員は29年度会費振替済み

平成 30 年度 診療報酬改定の概要

3月5日に平成30年度診療報酬改定が厚生労働省より示され、本協会の技能認定登録者を中心に精査した内容をご報告いたします。ここに掲載するものは、改定の概要ですので、詳細は、厚生労働省のホームページ等でご確認ください。

第7部リハビリテーション

平成30年厚生労働省告示第43号 <第2章>リハビリテーション

また、紙面を有効活用するため、各項目を次のように簡略化しますので、予めご了承ください。

脳血管疾患等リハビリテーション→脳血管疾患

廃用症候群リハビリテーション料→廃用症候群

運動器リハビリテーション料→運動器

リハビリテーション総合計画評価料→総合計画評価

疾患別リハビリテーション点数表

	心大血管	呼吸器	脳血管疾患	運動器	廃用症候群
基本算定日数	150日	90日	180日	150日	120日
施設基準Ⅰ	205点	175点	245点	185点	180点
			* 147点	* 111点	* 108点
施設基準Ⅱ	125点	85点	200点	170点	146点
			* 120点	* 102点	* 88点
施設基準Ⅲ			100点	85点	77点
			* 60点	* 51点	* 46点

* 基本算定日数超え要介護被保険者等入院中以外の患者が対象：13単位/1月に限り、算定できる

** 太枠内の施設基準で施設基準Ⅲの点数が対象

脳血管・運動器・廃用症候群

注5、標準的算定日数（脳血管疾患180日・廃用症候群120日・運動器150日）超えを取り扱う保険医療機関が、介護報酬の通所リハビリテーション費の算定実績が無い場合、所定点数の100分の80を算定

注6、要介護被保険者等に対し、（脳血60日・廃用40日・運動50日をそれぞれ経過）した後、過去3月以内に目標設定等支援・管理料の算定実績がない場合、所定点数の100分の90を算定

* 30日を限度として早期リハビリテーション加算として1単位につき30点を加算

14日を限度として初期加算として1単位につき45点をさらに加算

対象：入院中のもの、

入院中の患者以外の患者（脳血管疾患、運動器において地域連携診療計画加算算定している患者）

技能認定登録者が算定可能な根拠

【解釈通知リハビリテーション第1節リハビリテーション料

脳血及び廃用（6）・運動（6）（7）（9）の抜粋】

理学療法士、作業療法士又は言語療法士以外に、運動療法機能訓練技能講習会を受講するとともに、定期的に適切な研修を修了しているあん摩マッサージ指圧師等の従事者が訓練を行った場合…中略… 医師又は理学療法士が事前に指示を行い、かつ事後に当該療法に係る報告を受ける場合であって…中略…（Ⅲ）の所定点数を算定する。

H 003-2 リハビリテーション総合計画評価料 1 = 300点 2 = 200点

1 = 算定可 2 = 厚労省医療課に要確認

技能認定登録者が算定可能な根拠【平成28年度改定の疑義解釈抜粋】

問 リハ総計は、「適切な研修を修了しているあん摩マッサージ指圧師等の従事者」が、医師の監督の下でリハ総計を作成した場合には、算定できるのか。

答 医師とあん摩マッサージ指圧師等の従事者が共同して作成している場合には、その他の算定要件を満たしていれば、算定できる。

J 119 消炎鎮痛等処置（1日につき）

1、マッサージ等の手技による療法 35点

2、器具等による療法 35点

3、湿布処置 35点

注1、1～3の種類、回数又は部位数に関わらず、本区分により算定

注2、同一患者に1日に2回以上行った場合、主たる療法の所定点数を算定注3及び注4は省略

その他 今期の改定において、地域包括ケアシステムの推進が大きく掲げられ、リハ専門職が「退院時共同指導料」の中の連携職種に追加されました。技能認定登録者の扱いについては、今後厚労省医療課に照会して参ります。

以上、3月10日現在で保険局が把握している内容を掲載いたしました。不明な点や更なる詳細につきましては、保険局が対応いたしますので、協会事務所までお問い合わせください。

保険局長 丹羽つとむ

平成 30 年度 介護報酬改定の概要

1月26日に平成30年度介護報酬改定の答申内容が公表されましたので、本協会の技能認定登録者及びあん摩マッサージ指圧師、柔道整復師等に関連する項目について、ご報告いたします。なお、解釈通知が3月15日現在公表されていないため、詳細については確認できない項目がありますので、予めご了承ください。

参考資料1平成30年度介護報酬改定における各サービス毎の改定事項について (PDF: 2.076KB)

7. 通所リハビリテーション費 (技能認定等登録者が算定可)

所要時間1時間以上2時間未満の場合

所要時間1時間以上2時間未満の場合

	イ 通常規模型	ロ 大規模型 (I)	ハ 大規模型 (II)
要介護1	329 単位	323 単位	316 単位
要介護2	358 単位	354 単位	346 単位
要介護3	388 単位	382 単位	373 単位
要介護4	417 単位	411 単位	402 単位
要介護5	448 単位	441 単位	430 単位

※他の時間及びリハビリテーションマネジメント加算、他加算等は算定不可

※技能認定登録者の算定根拠 (平成27年度改定)

指定居宅サービスに関する費用の額の算定に関する基準 (実施上の留意事項について) 七、通所リハビリテーション 1、人員に関する基準 (1) ② ハの抜粋

所要時間1時間から2時間の通所リハビリテーションを行う場合であって、定期的に適切な研修を修了している看護師、准看護師、柔道整復師又はあん摩マッサージ指圧師がリハビリテーションを提供する場合は、これらの者を当該単位におけるリハビリテーションの提供に当たる理学療法士等として計算することができる。この場合における「研修」とは、運動器リハビリテーションに関する理論、評価法等に関する基本的内容を含む研修会であって、関係学会等により開催されているものを指す。具体的には、日本運動器リハビリテーション学会の行う運動器リハビリテーションセラピスト研修、全国病院理学療法協会の行う運動療法機能訓練技能講習会が該当する。

6. 通所介護費の注10 (機能訓練指導員が算定可)

イ. 個別機能訓練加算 (I) 46 単位 ロ. 個別機能訓練加算 (II) 56 単位

【重要】 機能訓練指導員の確保の促進

機能訓練指導員の確保を促進し、利用者の心身の機能の維持を促進する観点から、機能訓練指導員の対象資格に一定の実務経験を有するはり師、きゅう師を追加する。一定の実務経験を有するはり師、きゅう師とは、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護職員、柔道整復師又はあん摩マッサージ指圧師の資格を有する機能訓練指導員を配置した事業所で6月以上勤務し、機能訓練指導に従事した経験を有する者とする。

※個別機能指導員は以下の施設でも算定可

地域密着型通所介護・短期入所生活介護・特定施設入所者生活介護・地域密着型特定入所者介護・介護福祉施設サービス・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、他

通所介護費の注11 (機能訓練指導員が実施) 新設

イ. ADL維持等加算 (I) 3 単位 イ. ADL維持等加算 (II) 6 単位

(4) 抜粋

利用者の総数のうち、評価対象利用開始月と、当該月から起算して六月目において、機能訓練指導員がADLを評価し、その評価に基づく値を測定し、評価した月が属する月ごとに厚生労働省に当該測定値が提出されている場合

※ADLの評価は、Barthelindexを採用

通所介護の注9 (生活機能向上連携加算) は、技能認定登録者算定不可 [介護療養型医療施設] ⑨医療機関併設型の特定施設へ転換する場合の特例

介護療養型医療施設又は医療療養病床から、「特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等) と医療機関の併設型」に転換する場合について、以下の特例を設ける。

ア サービスが適切に提供されると認められる場合に、生活相談員、機能訓練指導員、計画作成担当者の兼任を認める。

機能訓練指導員の働ける職場

- ・デイサービス (通所介護施設) ・ショートステイ (短期入所生活介護施設)
- ・特別養護老人ホーム・認知症対応型通所介護施設 ・特定施設入居者生活介護施設

以上、3月15日現在で保険局が把握している内容を掲載いたしました。不明な点や更なる詳細につきましては、保険局が対応いたしますので、協会事務所までお問い合わせください。

保険局長 丹羽 つとむ

支部・地方会からの提言・要望への回答(要旨)

1. 診療報酬及び介護報酬改定について、技能認定登録者が算定出来る診療報酬・介護報酬の算定要件と点数・単位等を解りやすく一覧表にして、広報に掲載していただきたい。(中部地方会)

答え 保険局で検討して作成予定。

2. 会費値上げについて、会費未納や滞納が依然高い水準にあるが、規程にある措置を実施して納入率を高めては、部局別の予算額を示してほしい。(中部地方会)

答え 本部から会員、支部長などに協力を求め、回収努力を行っている。
各部局の科目別予算積算額は複雑になっており、現状では困難。

3. 公益法人としてのメリット、デメリットは？(四国地方会)

答え メリットは、社会的認識の信頼度が高く、行政・関連団体の協力が得られやすい。デメリットについては、これといった物は考えられない。

4. 地方学会開催地の公平性をどのように決めていくのか？

答え 当面5年間の開催地を地方会に確認しており、本部で多角的な方向から調整して決定していきたい。

5. 年度末会計の在り方を明確にしてもらいたい。

答え 年度末(3月31日)に万円単位を本部に返金する。年度初めに足りない場合は、立替をお願いして本部より入金後に処理していきたい。

平成 29 年度 第 3 回 理事会議事録 (抄)

日 時 平成30年 3 月 4 日(日)10:45~14:30

場 所 協会事務所

出席者 理事総数 11 名 出席理事 10 名

監事総数 3 名 出席監事 3 名

理 事 平野五十男 (会長)

柳澤 貞男 (副会長・事務局長・表彰選考委員)

三宅健一郎 (副会長・広報局長・表彰選考委員)

佐藤 功 (情報管理局长)

小川 嗣人 (学術局长・理療出版部部長)

小田木宏江 (財務局局长・財務処理委員会委員長)

丹羽つとむ (保険局长)

可知 謙三 (調査・組織充実部部長)

米谷 勝行 (調査・組織充実部次長)

津田 敏彦 (学術局次長・研究・教育部部長)

監 事 大塚 正廣

菊田 京一

中川 保

相談役 倉石 健二 (表彰選考委員会委員長)

猪野塚孝徳 (特殊出版部部長)

大場 栄悦 (広報局局員)

事務局員 青柳 利之 (事務局次長・広報局局員)

杉浦 幹雄 (公益法人推進部長)

欠席者 木村 重人 (理事・組織局局長)

議 長 平野五十男

書 記 三宅健一郎・青柳利之

柳澤 定款 29 条の規定により、平野会長を議長に選任し、定款 34 条に規定する理事 10 名の出席で、定足数を満たしたことを確認して成立宣言後、議事に入った。

平野 本日の議題は、5 月 25 日に予定されている第 59 回定時代議員総会の議案書作成のため、活発な議論をお願いしたい。

本協会の名誉会員である山崎義雄先生が、去る 2 月 26 日、老衰により 97 歳の天寿を全うされました。本協会における多大な功績とご冥福をお祈りし、

黙祷を捧げた。

(報告事項)

1. 諸会議及び渉外行動報告

別紙参照

2. 本部発信文書一覧

別紙参照

3. 協会創立 70 周年・法人認可 55 周年記念事業に係る厚生労働大臣表彰・協会表彰者名簿報告

倉石 厚生労働大臣表彰 14 名 高木賞 22 名 後藤賞 36 名

功績賞 76 名 功労賞 75 名

(全会一致で承認)

4. 運動療法機能訓練技能講習会 第 25 回認定試験合否判定結果

柳澤 合格者 68 名 (合格率 97%)

5. 平成 30 年度 診療報酬・介護報酬改定の現況報告

丹羽 診療報酬は、地域包括ケア入院料及び回復期リハビリテーション病棟の基準の再編成 リハビリテーション総合計画提供料などの概要を説明

あはき、技能認定登録者関連は、近々告示、通知類が公表されるため、精査し広報等で周知する。

青柳 介護保険は、機能訓練指導員にはり師・きゅう師が認められたこと。通所介護における ADL 維持加算通所リハビリ (1~2 時間) の所定単位数 介護医療院などの概要を説明

三宅・可知・米谷

改定内容及び以前より要望のある技能認定登録者が算定出来る診療報酬・介護報酬を簡潔にまとめて、判るように掲載していただき

たい。

器展示・書籍

地場産品展示販売・他

6. 平成 29 年度 会費納入状況報告

担 当 九州地方会 長崎・佐賀
県支部

小田木 3月4日現在147名が未納
2月中旬に15支部が完納過年度
分未納者に督促しているが、所在
が分からない等、回収が困難に
なっている。

津田・可知・杉浦

会費納入状況の表（納入対象者・
納入者・未納）を分かり易くでき
ないか。

大場・菊田

会費のJCB引き落としを増やす方
法はないのか。未納者対策（督促）
の一本化など。

中川・杉浦・可知

入会特に定款で「会費納入義務」
を周知しているか。入退会処理に
係る本部、支部の情報伝達を図る
必要がある。

柳澤・佐藤

入退会処理は会員管理クラウドで
確認してください。また、今後は
本部と支部の連携促進に努める。

7. 第 67 回 日本理学療法学会 進捗状況

佐藤 現在抄録の編集作業を行って
おり、3月末を目途に会員へ発送す
る予定。

8. 第 68 回 日本理学療法学会 進捗状況

三宅 テーマ「長寿社会における医療・
介護」－積極的な社会参加へ私た
ちの役割－

会 期 平成 31 年 5 月 24 日（金）
～ 26 日（日）

会 場 諫早観光ホテル道具屋
（長崎県諫早市）

内 容 特別講演・分科会・市民
公開講座・会員発表・機

9. 役員改選に係る立候補の状況

柳澤 大村役員改選管理委員長の承諾を
得て報告する。

理事 11 名 監事 3 名

（審議事項）

1. 平成 30 年度 基本姿勢及び事業計画（案）

配布資料の訂正

平野 組織局 2)「平成 30 年度 会員名簿
の作成業務」は、削除

三宅 広報局 1)「広報 332 号」は、「広
報 232 号」に修正
（全会一致で承認）

2. 平成 30 年度 予算書（案）

津田 事業収益（理療の広報）の確認

可知 日本理学療法学会の経費は、当該
年度と次年度開催の 2 学会を計上
していることの確認
（全会一致で承認）

3. 役員定数の削減、常任理事会の廃止に係
る定款変更（定款改正案）

平野 会員数の減少に伴い、役員定数を
削減、併せて常任理事会を廃止し
て法人運營業務の効率化、経費節
減を図る。詳細は別紙参照
（全会一致で承認）

4. 会費値上げに係る定款改正（案）

平野 会員数の減少に伴う会費収入の減
少に対応するため、平成 31 年度
より、協会費の 2,000 円値上げを
提案。詳細は別紙参照

可知 値上げした額の、本部、地方会へ
の配分率は、50%ずつでいいのか。

- 平野 基本は、50%ずつと考えている。
(賛成9名 反対1名で承認)
5. 第68回 日本理学療法学会 学会長・準備委員長の承認
学 会 長 西口 政男
準備委員長 森田 好則
(全会一致で承認)
6. 第69回 日本理学療法学会 開催地の決定
可知 中部地方会で開催の方向で検討している。
平野 内定とする。
(全会一致で承認)
7. 表彰に関する承認
1) 第66回 日本理学療法学会 学会長・準備委員長の表彰
学 会 長 丹羽 つとむ
準備委員長 町井 修治
2) 栄誉賞・組織拡大貢献支部表彰・学術奨励賞・特別感謝状は選考中
(全会一致で承認)
8. 協会創立70周年・法人認可55周年記念事業に係る経費の承認
平野 5年毎に開催される記念事業に充当する資金である高木賞基金(定期預金)を解約し、その経費に充てる。事業終了後に残金を定期預金として積み立てる。
(全会一致で承認)
9. 公益目的事業資金(定期預金)の一時解約の承認
平野 平成30年度始め、地方会、支部への交付金に充当するため、公益目的事業資金を一時解約し、会費が納入される5月中旬には、同額を定期預金として積み立てる。
(全会一致で承認)
10. 第59回 定時代議員総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定
平野 日 時 平成30年5月25日(金)
11:00～16:30
場 所 ウェスタ川越 多目的ホール(埼玉県川越市)
議 事 理事会で協議され、代議員総会に付議された事項
(全会一致で承認)
11. 意見、提言、要望
中部地方会、四国地方会の要望・提言は別紙参照(一部は既に協議済)
可知 理事 毎回、要望とともに技能認定登録者が、疾患別リハビリテーション料の算定要員であることを継続的に確認していく必要がある。
今後に向け、マッサージ等の手技療法の評価を得るために医療技術評価申請書の提出が不可欠であり、柔道整復師を含めたものとする。
- 津田 理事 会費値上げ案に対する対策案について検討することが必要では。
12. その他
小川・佐藤・可知 訪問マッサージを全国展開している企業から、本協会の研修会を受講したいとの問い合わせがあるが、どのように対応すれば良いか。
平野 研修会等の受講、入会等については、個人資格が前提であり、全て定款、諸規程に照合し、対応してください。

本部発信文書一覧

月日	文書番号	宛先	文書名
11/11	54	東洋療法研修試験財団 理事長	平成29年度 生涯研修会開催届の送付について
21	55	東洋療法研修試験財団 理事長	平成29年度 生涯研修会開催届の再提出について
29	事務連絡	宮崎県 多田支部長	第68回 日本理学療法学会の口座開設について
12/7	56	地方会執行委員長	地方会学会開催計画に係る報告のお願い
8	事務連絡	技能講習会 関係各位	技能講習会課題レポートの送付先について
8	57	技能講習会 関係役員	第25回 認定試験実施に関する文書の送付について
12	58	地方会執行委員長 財務担当 各位	平成30年度 予算書の作成について
12	59	宮崎県 多田支部長	第68回 日本理学療法学会口座開設に係るキャッシュカードの送付について
14	事務連絡	支部長・地方会執行委員長	平成29年度 第3四半期ファイル送付について
15	60	加藤勝信厚生労働大臣	「協会創立70周年・法人認可55周年記念式典」厚生労働大臣表彰推薦候補者の申請について(許可願)
19	事務連絡	地方会執行委員長	第40回 理学療法指導者講習会のDVDの送付について
19	61	支部長 各位	第40回 理学療法指導者講習会 資料について
27	事務連絡	HITOWAライフパートナー株 事業部	第66回 日本理学療法学会の抄録の送付について
1/5	62	支部長 各位	技能認定登録制度に係る登録の更新について
10	事務連絡	新潟リハビリテーション大学 木村和樹先生	「理療」183号の寄贈について
12	事務連絡	西口政男 学会長	「第68回 日本理学療法学会企画書(案)の送付について
15	事務連絡	理事・関係役員 各位	第67回 日本理学療法学会並びに関係会議に係る役員の宿泊等申し込みについて
29	事務連絡	認定試験 担当者	第25回 認定試験問題の送付について
23	事務連絡	名誉会員 各位	第67回 日本理学療法学会に関するご案内
25	事務連絡	国立国会図書館受入係	「第66回 日本理学療法学会プログラム・抄録集」の送付について
29	事務連絡	代議員選挙管理委員 各位	代議員選挙に係る「選挙公報」の発行について
2/1	63	理事会構成員 各位	平成29年度 第3回理事会の開催について
9	64	大臣表彰受賞者 各位	協会創立70周年記念式典に係る厚生労働大臣表彰について(受賞決定のお知らせ)
9	65	役員 各位	協会創立70周年記念式典に係る厚生労働大臣表彰について(受賞決定のお知らせ)
9	66	支部長 各位	協会創立70周年記念式典に係る厚生労働大臣表彰について(受賞決定のお知らせ)
19	67	理事会構成員 各位	平成29年度 第3回討議資料の送付について
19	68	支部長 各位	第25回 認定試験合格証並びに技能認定登録について
21	69	岐阜市民病院 病院長	原稿ご執筆のご依頼
28	70	役員改選管理委員各位	役員改選に係る立候補届の送付
3/5	71	支部長 各位	協会創立70周年記念式典における表彰について
5	72	東洋療法研修試験財団	平成29年度 財団共催生涯研修会実施報告書の送付

諸会議及び役員渉外行動報告

月 日	用 務 地	用 務 内 容
11/22	厚労省老健局振興課	介護報酬に係る確認(平野・丹羽・青柳)
22	憲政記念館	国民医療を守る総決起大会(平野・丹羽・青柳・杉浦・高野・小瀬)
23	厚労省医政局医事課	協会創立70周年記念に係る大臣表彰推薦(平野・柳澤)
23	ホテルオークラ	全日本病院協会 新役員披露パーティー (平野)
12/7	協会事務所	葵税理士法人財務処理 (平野・小田木・佐藤)
8	協会事務所	協会表彰に係る推薦書類の整理(平野・柳澤)
15	厚労省医政局医事課	厚生労働大臣表彰に係る協議(平野・柳澤)
16	全鍼師会館	第3回 普及啓発部会(平野)
19	ツナビル	ニュー大崎管理組合理事会(平野)
21	協会事務所	理療編集会議 (小川・新山・平野・柳澤)
22	全鍼師会館	第5回あはき等法推進協議会(平野)
22	全鍼師会館	あはき法制定70周年記念事業実行委員会(平野)
23	協会事務所	創立70周年記念協会表彰書類審査(平野・柳澤・倉石)
1/7	伊勢原シティープラザ	運動療法機能訓練技能講習会 修講式 (平野)
16	厚労省医政局医事課	厚生労働大臣表彰に係る協議(平野・柳澤)
18	協会事務所	認定試験問題に係る事務処理(平野・柳澤)
19	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・小田木・佐藤)
26	協会事務所	大臣表彰に係る厚労省からの指摘事項協議(平野・柳澤・杉浦)
2/1	協会事務所	認定試験問題の発送準備(平野・柳澤)
2	東洋療法研修試験財団	生涯研修実施作業部会 (柳澤)
3～4	東京医療福祉専門学校	訪問マッサージ師講習会(柳澤)
4	ウェスタ川越	第67回 日本理学療法学会 準備委員会(平野)
5	全鍼師会館	第6回 あはき等法推進協議会(平野)
8	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・小田木・佐藤)
9	協会事務所	認定試験に係る事務処理(平野・柳澤)
11	神奈川・京都	第25回 認定試験
13	ツナビル	ニュー大崎管理組合理事会(平野)
16	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・小田木・佐藤)
16	帝国ホテル	横倉義武先生 世界医師会会長就任祝賀会(平野)
17	協会事務所	第25回 認定試験合否判定会議(平野・柳澤・三宅)
23	協会事務所	理事会討議資料の整理(平野・柳澤・杉浦)
3/3	協会事務所	表彰選考委員会(平野・柳澤・三宅・倉石)
4	協会事務所	平成29年度 第3回理事会
5	大成会館(中延)	故 山崎義雄 儀 告別式(平野)
8	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・佐藤・小田木)
10	筑波大東京キャンパス	日本東洋医学系物理療法学会 第43回(平野)
13	ツナビル	ニュー大崎管理組合 理事会(平野)
14	東洋療法研修試験財団	臨時評議員会(平野)
18	杉山和一記念館	杉山検校遺徳顕彰会 平成29年度評議員会(平野)

役員改選公報 平成 30 年選管第 3 号	平成 30 年 3 月 31 日 公益社団法人 全国病院理学療法協会 役員改選管理委員長 大村 和司
------------------------------	--

平成 30 年 5 月 25 日に行われる役員改選に関し、以下のとおり立候補の届出がありましたので、公示します。

表の見方

①・・・立候補者氏名 ②・・・消印年月日 ③・・・推薦支部及び地方会名 ④・・・抱負

※立候補者の掲載順は、②の消印年月日に準じて行い、同日の場合は「ア・ウ・オ」順に配列してあります。

I 理事の部（定数 12 名 立候補者数 11 名）

- ① 小路口 憲（しょうじぐち けん）
- ② 2月1日
- ③ 北海道地方会・東北地方会
- ④ 抱負

協会の基本姿勢を踏まえ、協会が抱える諸課題に対して、これまでの地方組織の役員として培った経験を活かし、微力ではありますが本部役員として尽力してまいりたいと考え立候補いたしました。ご支援のほど、よろしく願い申し上げます。

- ① 三宅健一郎（みやけ けんいちろう）
- ② 2月1日
- ③ 近畿地方会
- ④ 抱負

まず、前回までご支援いただきながら成果が出せなかったことをお詫び申し上げます。ここ半年間、全国の会員の声を聞かせていただきましたが、まだまだ現状において厳しい状況が続いており、職場や社会的にも安定できたとの声を聞いていません。このことを受け、再度、立候補することを決めました。また、ここ最近、新入会員及び協会全体においても柔道整復師の構成率が高くなってきており、柔道整復師の解決できていない課題を十分検討する必要があると考えています。

① 野山隆司（のやま たかし）

② 2月8日

③ 近畿地方会

④ 抱負

大変厳しい業務環境の中、当協会の技能認定登録制度で日々勤務されている会員が多数おられます。この制度の堅持と評価改善及び職域の拡大が望まれています。また、組織規模の縮小が聞かれて久しく、効果的な組織運営等の課題も急がれます。代議員2期4年、大阪府支部長、昨年度の全国学会事務局長を務めさせていただき、この度、当協会および会員のために努力したい思いで、立候補いたしました。どうぞよろしく願いいたします。

① 丹羽つとむ（にわ つとむ）

② 2月13日

③ 近畿地方会

④ 抱負

最初の2年間は理事会の雰囲気慣れること、経験を積むことに努め、この2年間は保険局長という重責を担い厚生労働省、日本臨床整形外科学会へ足を運び、活動をしてきましたが、当協会のアピールと職域拡大までには至りませんでした。技能認定登録制度上の資格について理解が得られるように他の関係医学会、介護関連団体等に働きかけたいと思います。よろしく願いいたします。

① 青柳利之（あおやぎ としゆき）

② 2月15日

③ 関東甲信越地方会

④ 抱負

会員数の減少と会員の高齢化はさけることはできず、その傾向を変えることはできないと考えています。

また本協会のかなめである学術活動、それを支える経費面においても弱体化は増すばかりです。

私は協会業務、事業のすべての分野で見直しを提案し、私たちの創った技能認定登録制度を守っていきたいと思います。

① 可知謙三（かち けんぞう）

② 2月18日

③ 中部地方会

④ 抱負

実態調査で求められた技能認定登録者の現行の位置づけを明確に確保していきます。そのうえで、PTの充足と木々しい算定格差に対応していくためには、柔道整復を含めた手技療法での独自の職域確保が必要と考えます。それは協会の基盤となる地方組織の再生につながります。

次期改定に向け、理事としてその職責を果たしていきたいと思います。

① 小川嗣人（おがわ つぐと）

② 2月19日

③ 中部地方会

④ 抱負

本協会の発展のため会員皆様の声を大きな力に変わることにより微力ながらお手伝いさせていただきます。

① 平野五十男（ひらの いさお）

② 2月23日

③ 関東甲信越地方会

④ 抱負

会長に就任して2期4年が経過しました。協会は会員の高齢化と職場環境の悪化に伴う会員数の減少に加え、診療報酬算定上のP Tとの格差是正問題等、非常に厳しい状況です。

その打開策としては、技能認定登録制度を堅持していくことが必須条件で、厚労省や関係医学会に対し、要望活動を引き続き実施していきます。

次代を担う若手役員の育成も急務であり、重点課題として取り組んでいきます。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

① 津田敏彦（つだ としひこ）

② 2月24日

③ 四国地方会

④ 抱負

この度、四国地方会より推薦を頂き、理事に立候補する運びとなりました。

医療現場における我々の立場は益々不安定な立場となっております。これからもさらに大変になってくると思いますが、会員一同スクラムを組んで、英知を絞り、全病理存続に向けて頑張っていく所存です。

特に我々の根本となる国家資格による生活の安定化が急務と思われます。そのことの実現に向かって、頑張っていく所存です。

① 三浦政則（みうらまさのり）

② 2月24日

③ 関東甲信越地方会

④ 抱負

支部・地方会の活性化、本部維持が収支とのバランスがとれた協会運営になるように努力及び協力したいと考えております。

- ① 多田浩幸（ただ ひろゆき）
- ② 2月25日
- ③ 個人立候補
- ④ 抱負

この度、九州より個人立候補いたします多田浩幸です。会員減少により地方会・支部活動は厳しいものがあります。活気ある協会目指して皆様の一助となれるよう努力いたします。

Ⅱ 監事の部 （定数 3 名 立候補者数 3 名）

- ① 中川 保（なかがわ たもつ）
- ② 2月1日
- ③ 近畿地方会
- ④ 抱負

今期、監事に三度目の立候補をする中川保です。

本会の財政が非常に厳しい状況にあることはご承知のことと思います。引き続き、会員の皆様が納めた会費が地方会・支部の活動に有意義な配分がされるよう願うものです。

全国の皆様のご支援をお願いいたします。

- ① 大塚正廣（おおつか まさひろ）
- ② 2月21日
- ③ 中部地方会
- ④ 抱負

本協会は、会員の減少・高齢化により、組織及び財務等の改革が急務であると考えます。本部と地方が一体となり、会員皆さんの意識改革も含め、協会の改革を進めなくてはなりません。本協会が、その方向性を違えぬよう監事として見守っていきます。

監事の職務は、公正中立性が強く求められるものであります。改めて原点に戻り、関係法令や定款等に定められた職責を遂行してまいります。どうぞよろしく申し上げます。

- ① 大内田義巳（おおうちだ よしみ）
- ② 2月23日
- ③ 東北地方会
- ④ 抱負

私は、35年に渡り支部・地方会役員を務め、長年、地方の立場で協会運営を見て、そして考えてきました。近年、会員減少に伴う厳しい財政運営が迫られている本協会は、かつてない大改革に取り組んでいます。

今後、この大改革をどのように進めていくことが、会員一人ひとり、そして協会全体に良いのかを、今度は監事の立場で、本部の近くで見守り、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。どうぞよろしく申し上げます。

発行人 公益社団法人 全国病院理学療法協会

〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-21
ニュー大崎 318号

TEL 03 (3494) 1948

FAX 03 (3494) 1950

ホームページアドレス <http://nhpta.net>

発行責任者 平野 五十男

編集責任者 三宅 健一郎